平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月6日

上場会社名　株式会社 イムラ封筒　　上場取引所　東
コード番号　3955　URL　http://www.imura.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 井村　優
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 福塚　昌義　TEL 06-6910-2511

四半期報告書提出予定日　平成25年9月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第2四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	11,344	1.9	332	61.4	386	45.9	294	102.3
25年1月期第2四半期	11,130	△0.6	206	348.0	264	115.4	145	9.4

(注)包括利益　26年1月期第2四半期　313百万円　(76.1%)　25年1月期第2四半期　178百万円　(59.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	13.81	―
25年1月期第2四半期	6.83	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第2四半期	20,485	11,513	56.2
25年1月期	20,608	11,199	54.3

(参考) 自己資本　26年1月期第2四半期　11,505百万円　25年1月期　11,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年1月期	―	0.00			
26年1月期(予想)			―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
第2四半期末の配当につきましては、業績、財政状態および今後の厳しい経営環境に鑑み、誠に遺憾ではございますが見送ることといたしました。
また、平成26年1月期の期末配当につきましては未定であります。

3. 平成26年 1月期の連結業績予想(平成25年 2月 1日～平成26年 1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,690	2.0	230	228.1	270	42.1	130	219.2	6.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期2Q	21,458,740 株	25年1月期	21,458,740 株
② 期末自己株式数	26年1月期2Q	101,533 株	25年1月期	101,533 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期2Q	21,357,207 株	25年1月期2Q	21,357,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在においての経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報.....2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....4
(4) 剰余金の配当に関する定性的情報.....4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項.....4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....4

３．四半期連結財務諸表.....5
(1) 四半期連結貸借対照表.....5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間.....7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間.....8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....11
(5) セグメント情報等.....11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....11

【定性的情報・財務諸表等】

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権への期待感から円安・株高傾向で推移するとともに、輸出の持ち直しや公共投資の増加などに伴い企業収益が改善に向かうなど、緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、当業界においては長期的な郵便物の減少傾向の影響を受け、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは「直販営業の強化」、「事業規模に見合った生産・営業体制の確立」、「高品質の追求および新商品・新サービスへの挑戦」を基本方針に、お客様に満足いただける商品やサービスの開発・提供によるイムラブランドの確立ならびに収益力の強化に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は113億44百万円（前年同期比1.9％増）、営業利益は３億32百万円（前年同期比61.4％増）、経常利益は３億86百万円（前年同期比45.9％増）、また、特別利益に投資有価証券売却益38百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は２億94百万円（前年同期比102.3％増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（封筒事業）

通信会社向け請求書用封筒が減少しましたが、ＮＩＳＡ（少額投資非課税制度）案件を取り込んだほか、ダイレクトメールの増加やデザイン案件の獲得などにより、売上高は92億33百万円（前年同期比2.4％増）となりました。損益面では、外注加工賃の増加などにより収益性が低下しましたが、労務人件費や諸経費の削減に努め、営業利益は２億88百万円（前年同期比30.9％増）となりました。

（メーリングサービス事業）

総合提案力の強化に取り組み、アウトソーシング案件の新規受注やセミナーを起点としたソリューション営業を展開したほか、官公庁関連の受注やダイレクトメールの増加などにより大幅な増収となり、売上高は12億97百万円（前年同期比15.5％増）となりました。損益面では、外注加工賃の増加などにより収益性が低下しましたが、労務費や諸経費の削減に努め、営業利益は57百万円（前年同期は営業損失33百万円）となりました。

（その他）

情報システム事業において前期に発生した自治体向けスポット受注が当期はなく大幅な減収となったことに加え、競争激化や需要減少などにより全ての子会社で減収を余儀なくされたため、売上高は８億13百万円（前年同期比18.0%減）、営業損失は14百万円（前年同期は営業利益18百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ１億23百万円減少して204億85百万円となりました。これは主に、増収に伴い受取手形及び売掛金や電子記録債権が増加した一方で、有利子負債の返済により現金及び預金が減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ４億36百万円減少して89億72百万円となりました。これは主に、仕入増に伴い支払手形及び買掛金が増加した一方で、有利子負債が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ３億13百万円増加して115億13百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は56.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ８億89百万円減少して30億44百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は１億29百万円（前年同期比72.5%減）となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益４億20百万円、減価償却費２億91百万円、仕入債務の増加額３億11百万円、資金の減少要因として売上債権の増加額６億14百万円、長期未払金の減少額１億20百万円、たな卸資産の増加額42百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は３億円（前年同期は２億45百万円の支出）となりました。これは主に、資金の増加要因として投資有価証券の売却による収入１億55百万円、資金の減少要因として有形固定資産の取得による支出３億31百万円、信託受益権の増加額１億31百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は７億18百万円（前年同期は１億43百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額４億50百万円、長期借入金の純減少額２億55百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において、平成25年３月15日に発表いたしました「平成25年１月期決算短信」に記載しております平成26年１月期業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(4) 剰余金の配当に関する定性的情報

当社は、株主に対する安定的配当の継続を最重要政策の一つに位置付けております。

しかしながら、平成25年３月15日公表時に未定としておりました平成26年１月期の中間配当につきましては、業績、財政状態および今後の厳しい経営環境に鑑み、誠に遺憾ではございますが、見送ることといたしました。

なお、平成26年１月期の期末配当につきましては、当社を取り巻く環境が引き続き不透明であることから、現時点においても未定とさせていただきます。今後の経営環境および業績見通し等を勘案し、決定次第お知らせいたします。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,114	3,216
受取手形及び売掛金	3,274	3,644
電子記録債権	116	362
商品及び製品	477	467
仕掛品	189	237
原材料及び貯蔵品	377	382
その他	1,309	1,544
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	9,850	9,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,785	1,764
機械装置及び運搬具（純額）	1,804	1,774
土地	4,303	4,303
その他（純額）	336	419
有形固定資産合計	8,229	8,262
無形固定資産		
その他	56	48
無形固定資産合計	56	48
投資その他の資産		
投資有価証券	1,596	1,519
その他	894	827
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,472	2,329
固定資産合計	10,758	10,641
資産合計	20,608	20,485

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,868	3,180
短期借入金	1,720	1,270
1年内返済予定の長期借入金	683	625
未払法人税等	26	91
賞与引当金	261	269
その他	1,069	1,109
流動負債合計	6,630	6,545
固定負債		
長期借入金	1,375	1,178
退職給付引当金	161	182
役員退職慰労引当金	438	399
資産除去債務	90	91
その他	712	575
固定負債合計	2,779	2,427
負債合計	9,409	8,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,363	1,363
利益剰余金	8,410	8,705
自己株式	△25	△25
株主資本合計	10,945	11,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240	264
繰延ヘッジ損益	1	―
その他の包括利益累計額合計	241	264
少数株主持分	12	7
純資産合計	11,199	11,513
負債純資産合計	20,608	20,485

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
売上高	11,130	11,344
売上原価	8,800	8,935
売上総利益	2,329	2,409
販売費及び一般管理費	2,123	2,076
営業利益	206	332
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	20	21
貸倒引当金戻入額	12	2
助成金収入	18	0
その他	29	48
営業外収益合計	82	79
営業外費用		
支払利息	17	15
その他	5	10
営業外費用合計	23	25
経常利益	264	386
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	－	38
特別利益合計	0	38
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	7	2
投資有価証券売却損	－	1
投資有価証券評価損	67	－
特別損失合計	75	4
税金等調整前四半期純利益	189	420
法人税、住民税及び事業税	12	78
法人税等調整額	36	50
法人税等合計	48	129
少数株主損益調整前四半期純利益	140	290
少数株主損失（△）	△4	△4
四半期純利益	145	294

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年２月１日 至　平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年２月１日 至　平成25年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	140	290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	24
繰延ヘッジ損益	－	△1
その他の包括利益合計	37	23
四半期包括利益	178	313
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	318
少数株主に係る四半期包括利益	△4	△4

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	189	420
減価償却費	331	291
のれん償却額	3	3
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△17	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△0	7
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△10	20
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13	△39
受取利息及び受取配当金	△22	△27
デリバティブ評価損益（△は益）	△1	△11
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△36
投資有価証券評価損益（△は益）	67	－
支払利息	17	15
固定資産除却損	7	2
売上債権の増減額（△は増加）	△120	△614
たな卸資産の増減額（△は増加）	56	△42
仕入債務の増減額（△は減少）	△1	311
長期未払金の増減額（△は減少）	△125	△120
その他	97	△50
小計	485	131
利息及び配当金の受取額	22	25
利息の支払額	△17	△15
法人税等の還付額	7	6
法人税等の支払額	△26	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	470	129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△232	△331
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	－	155
投資有価証券の償還による収入	1	1
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
定期預金の増減額（△は増加）	△5	6
信託受益権の増減額（△は増加）	2	△131
敷金及び保証金の回収による収入	0	1
その他	△10	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245	△300

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	20	△450
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△11	△13
長期借入れによる収入	320	100
長期借入金の返済による支出	△472	△355
配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143	△718
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	80	△889
現金及び現金同等物の期首残高	3,609	3,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,689	3,044

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	封筒事業	メーリングサービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,015	1,122	10,138	992	11,130	－	11,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	0	41	84	125	△125	－
計	9,056	1,122	10,179	1,076	11,256	△125	11,130
セグメント利益又は損失（△）	220	△33	187	18	206	△0	206

（注）１ その他には、以下の事業が含まれております。
コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウエアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
不織布製の封筒・造園資材等の製造販売並びに機械部品等の輸出入
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売
２ セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
３ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	封筒事業	メーリングサービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,233	1,297	10,530	813	11,344	－	11,344
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	0	36	54	91	△91	－
計	9,270	1,297	10,567	868	11,435	△91	11,344
セグメント利益又は損失（△）	288	57	345	△14	330	1	332

（注）１ その他には、以下の事業が含まれております。
コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウエアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
不織布製の封筒・造園資材等の製造販売並びに機械部品等の輸出入
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売
２ セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
３ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。